

# ボランティア通信

2012年12月25日発行  
(第2号)  
ボランティアコーディネーター  
吉田・牛山

## <特集> 学校林を使っの里山授業(環境教育)

<特集>



koeda+ 自由な発想  
ジオラマ作り



竹の割り方を実演する  
大戸源流森の会の方々



児童デザインの環境教育  
イメージキャラクター  
「ゆくちゃん」

本学園で力を入れている「環境教育」に、地元の大戸源流森の会と、相原中央公園で活動している「koeda+」の2団体の方々が、それぞれ魅力ある授業を展開して下さいました。

「里山」とは何かという基本的な事を、意外と大人も知らない現代ですが、子どもの頃、里山が生活の基盤として身近にあり、里山を愛してこられた、講師の城定國光さん(大戸源流森の会)のお話には、3年生もすっかり耳を傾けていました。「里山を好きになって下さい」という心のこもったメッセージ。19名全員が受け継ぎました。全4回(8時間)の授業では、竹挽きのこぎりや、切り出しナイフなどの刃物の使い方なども教えて頂きました。

一方、koeda+さんは、大人になつてから里山に親しみ始めた20〜30代の若者集団です。大学などで環境教育を学んだ専門家も所属しています。授業では、クリエイティブな企画をしっかりと計画し、自然に親しみ、自然を守る大人になつてほしいと願いながら、児童に接し、活動して下さいました。さらに、学校林を身近に感じてもらうようにと、イメージキャラクターの作成企画を立て、児童のデザイン案、そして全校生徒の投票を経て、キャラクター「ゆくちゃん」が誕生しました。

### 活動記録

#### ★大戸源流森の会

- (→3年生)
- 11/22 里山とは何か?
- 11/30 腐葉土作り
- 12/4 しの竹鉄砲・竹箸作り、竹ストローでシャボン玉
- 12/7 「もやい(枯れ枝)」で焼きいもひみつ基地作り

★koeda+  
(→4年生)  
9/6、9/13  
木材を使った工作  
「ひみつ基地」ジオラマ作り

(→6年生)  
9/19、9/26  
木材でカトラリー作り

### 【活動報告】

2012年度2学期  
(9月~11月)  
・ハウカツの開催回数  
(遊び・学習)  
計 39回  
・参加した学生延べ人数  
計 177名  
・地域ボランティアの参加人数  
計 42名  
たくさんのご参加、ありがとうございました!



「SPORTS CHALLENGE」  
日時：10月28日(日)10:30~15:00  
主催：法政大学スポーツ健康学部  
子ども発達研究会GROWTH  
後援：ゆくのき学園大戸小  
内容：ドッチビー、障害物リレー、  
フリースタイルパフォーマンスショー  
(早稲田大・バスケ、東海大・フットサル)

## 学生ボランティア企画 スポーツ体験イベント

主催団体 GROWTH は、イベントの内容・企画を、後援ゆくのき学園としては、「他校との交流」を目的とし、児童集めに尽力！人脈を経て、八王子市と相模原市の公立小学校から参加者を集め、合計27名の児童の交流となりました。(ゆくのき学園12名・他校15名) 本学園児童は、日頃から交流のある大学生とはすぐ仲良く活動出来ましたが、同年代の他校児童とは少しだけ距離感をいだいていようでした。その距離を縮めたのが、スポーツを通じた「班活動」、競い合うため、勝つための「作戦会議」…。距離を感じている場合ではなく、双方とも自然に声を掛け合い、初顔合わせの仲間を力合わせる事ができたようです。GROWTHのボランティアの学生のみなさん、素晴らしい一日をありがとうございました!

### interview



すがさわ・あきら  
劇団活動歴20年。  
俳優・演出担当。

## 「心の表現」を伝える 劇団・東京ノーウェイレパトリーシアター 菅沢 晃さん

「東京ノーウェイ」は下北沢に劇場を持つ劇団です。ゆくのき学園においては、学習発表会や卒業式での「声かけ」の指導、表現ワークショップイベント等で、児童、生徒たちと関わっています。今回は、ゆくのきでの指導に携わって下さっている、団員の菅沢さんに特別インタビューを行いました。

子どもたちに、どのように指導を行っているのですか?

単に発声などの技術を教えるのではなく、子どもたちが自分自身でどう思うか、どうしたいか。そこからスタートできるように、あえて答えを与えず、子どもの創造性を導けるように心がけています。たとえ卒業式の声かけでも、ただ「どう声を出すか」ではなく、その言葉で、自分自身がどう感じたかを、しっかりと思い浮かべながら、それを表現できるような指導を行っています。

今後、どのような活動をしていきたいですか?

子どもたちが、創造活動を通して、人の気持ちや、自分の心内部を観察できるようにしてほしいと思います。心のやり取りは、こういった経験を通してはじめて身に付くことなので。

最後に、子どもたちに向けてひとことメッセージをお願いします。

「流されないようにしてください。そして、切り開いていってほしいです。」

9年生  
ノーウェイさんと出会って、学ばせて頂いて、学習発表会では、最高の演技を見せてくれました。ゆくのき学園の最学年としての姿、伝統を作り上げました。



### 編集後記

・人のつながりって、素晴らしいな！(吉田)

・今年ももう終わりなんですわ…(牛山)

・今回は、下北沢まではるばる取材してきましたーちょっとした記者気分です(あいぼりー・五藤)

